

『HOT PEPPER』が「飲みたい街ランキング2018」を発表 「新宿」が初の1位獲得！昨年まで3連覇の「銀座」は2位 関西は「梅田」が大差で4連覇を達成 関東、関西の「コスパのいい街ランキング」も公開！

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が企画編集する、街のおトク情報満載のクーポンマガジン『HOT PEPPER』は「飲みたい街」に関するアンケートを実施し、「飲みたい街ランキング2018」を発表しましたので概要をご報告いたします。

「飲みたい街ランキング2018」概要

「飲みたい街ランキング2018 関東エリア」TOP20

(n=2,858/3つまでの複数回答)

昨年順位

順位	街名	得票数	昨年順位
1位	新宿	768点	2位(↑)
2位	銀座	736点	1位(↓)
3位	恵比寿	489点	3位(→)
4位	池袋	475点	6位(↑)
5位	新橋	471点	5位(→)
6位	横浜駅	449点	7位(↑)
7位	吉祥寺	407点	9位(↑)
8位	東京駅周辺	405点	8位(→)
9位	上野	376点	14位(↑)
10位	六本木	370点	4位(↓)
11位	神楽坂	325点	10位(↓)
12位	赤羽	317点	15位(↑)
13位	有楽町	303点	11位(↓)
14位	みなとみらい	292点	13位(↓)
15位	渋谷	286点	12位(↓)
16位	大宮駅	270点	16位(→)
17位	横浜中華街	235点	17位(→)
18位	麻布十番	218点	20位(↑)
19位	下北沢	217点	21位(↑)
20位	三軒茶屋	203点	28位(↑)

再開発でイメージ刷新した「新宿」が初の首位を獲得 TOP3は揺るがず、「飲みたい街」としての地位を確立

今年、初めて王者に輝いたのは「新宿」。2016年のニューマン開業以降、おしゃれなイメージも定着したことや、小田急線の複数線化に伴う増便などで利便性がアップしたことが1位獲得の要因の一つです。また、「新宿」は高級店からリーズナブルなお店まであり、老若男女誰でも楽しめる街ということも人気の秘密です。また昨年から入れ替わりで2位となった「銀座」や順位を維持した3位「恵比寿」が、不動の人気を示す結果になりました。

「池袋」「上野」「赤羽」などディープなエリアに 人気が集まり、軒並みランクアップ！

3位「恵比寿」に肉薄する勢いで4位を獲得した「池袋」や9位の「上野」、12位の「赤羽」といずれも路地裏やガード下に安く飲める飲み屋が並び、ディープな印象の街に人気が集まり、軒並み昨年からランクアップ。「上野」は2015年の調査開始から初めてのTOP10入りとなりました。オシャレなお店だけでなく、下町感のある“おいしくて手頃な飲み屋”がある街に人気が移行していることがアンケート結果に色濃く表れました。

関西は絶対王者「梅田」が4連覇を達成！ グルメトレンド発信地「心齋橋」は急上昇！

関西エリアでは、2015年の調査開始から4年連続で「梅田」が1位を獲得。大阪屈指の繁華街の人気は不動でした。6位を獲得した「心齋橋」は、昨年11位からランクアップしました。幅広いジャンルのお店が軒を連ねる「心齋橋」は、特に20代女性から高い支持を得たのが特徴的。チーズダッカルビや炙り肉バルなど、話題性のあるお店の存在も上位にランクインした要因の一つです。

「飲みたい街ランキング2018 関西エリア」TOP10

(n=1,288/3つまでの複数回答)

昨年順位

順位	街名	得票数	昨年順位
1位	梅田	1066点	1位(→)
2位	三宮駅周辺	526点	2位(→)
3位	難波	371点	3位(→)
4位	河原町	341点	4位(→)
5位	お初天神	243点	5位(→)
6位	心齋橋	227点	11位(↑)
	天満	227点	8位(↑)
8位	京橋	213点	10位(↑)
9位	祇園	186点	6位(↓)
10位	アメリカ村・西心齋橋	184点	15位(↑)

ガルメ 外食総研

外食市場に関する調査・研究機関「ホットベッパ-グルメ外食総研」が解説

新しきも古きも楽しめる“ネクスト赤羽”候補「北千住」に注目！

今回注目すべきは、「コスパのいい街」6位を獲得した「北千住」。「北千住」には、地域住民から、途中下車するビジネスマンなどで賑わう大衆居酒屋がずらりと駅周辺に並んでいます。その半面、大型商業施設も立ち並び、老若男女が楽しめる新旧混在の街として魅力を発揮していることから、今後「赤羽」を脅かす街になる可能性を秘めていると予測しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

「飲みたい街ランキング2018 関東エリア コスパのいい街ランキング」

関東エリア 「コスパのいい街ランキング」TOP5

(n=2,858/3つまでの複数回答)

1位	新橋	709点
2位	赤羽	707点
3位	上野	583点
4位	新宿	471点
5位	池袋	402点

**安くておいしいお店が立ち並ぶ人気の場所は、
僅差で「新橋」に決定！**

「コスパのいい街ランキング」は、サラリーマンに大人気の「新橋」が首位を獲得しました。僅差で2位となったのは「赤羽」。続いて3位を獲得したのは「上野」という結果になりました。ホットペッパーグルメ外食総研が実施した2016年の外食市場調査によると、TOP3の街に関しては、首都圏の平均単価よりも単価が高い傾向※が見られます。ただ安いだけでなく、値段に対して「満足感が高い」、「お徳感が強い」という印象があり、コストパフォーマンスの良さが評価された結果となりました。いずれの街も飲食店激戦区であり、競争の激しさからおいしいものをリーズナブルに飲んで食べられるお店が増えているようです。

※首都圏平均2,585円、新橋3,740円、赤羽2,610円、
上野3,158円（2016年外食市場調査調べ）

「飲みたい街ランキング2018 関西エリア コスパのいい街ランキング」

関西エリア 「コスパのいい街ランキング」TOP5

(n=1,288/3つまでの複数回答)

1位	京橋	389点
2位	新世界	369点
3位	梅田	367点
4位	天満	340点
5位	難波	312点

**「京橋」・「新世界」・「梅田」が人気！
「天満」は20代女性からの支持を得て4位獲得！**

関西の「コスパのいい街ランキング」では、サラリーマンの強い味方の街「京橋」が1位を獲得しました。2位の「新世界」とともに、B級グルメ店がひしめくディープなエリアが人気を集める結果となりました。3位の「梅田」は、好アクセスと大阪随一の飲食店数とバリエーションの豊富さが人気の理由のようです。4位の「天満」は、近年、小規模な店舗が多く立ち並び、はしご酒をしやすい街となっていて、20代女性に限ると1位の支持を得ていることで、上位進出を果たす結果となりました。

＜調査概要＞

- 調査時期：2018年2月23日(金)～2月26日(月)
 - 調査対象：関東・関西の20～50代の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
 - 有効回答数：4,146人(男性：2,074人、女性：2,072人)
- 各得点は、回答した順位から1位3点、2位2点、3位1点として数値化

ランキングは『HOT PEPPER』『HOT PEPPER Beauty』5月号でもご覧いただけます

『HOT PEPPER』『HOT PEPPER Beauty』5月号(4月27日発行)

「飲みたい街ランキング2018」のほか
「肌の色で見つける！私に似合う♥外国人風カラー」
「NO NAIL, NO LIFE 私たち、こんな風にネイル楽しんでます！」などの
記事を掲載！ (<https://magazine.hotpepper.jp/>)



『HOT PEPPER』

「街を元気にする、街のナンバー1メディア」をテーマに、飲食店やヘアサロン、リラクゼーション&ビューティースポット、スクール、ショッピングなど街のお得な情報満載のクーポンマガジンです。
【発行エリア】全国46版：北海道/東北/東京都内※23区除く
/首都圏/信越/北陸/東海/近畿/中国/四国/九州

『HOT PEPPER Beauty』

ヘアサロン、ネイルサロン、エステティックサロン、リラクゼーションサロンなどの店舗情報とクーポン情報を中心に、季節に合わせたファッション情報など、東京のBeauty情報を発信します。
【発行エリア】東京23区エリア：4版 新宿版/池袋版/渋谷・恵比寿版/銀座版

※飲みたい街ランキング掲載版

【関東版】宇都宮/新宿/渋谷/銀座/池袋/吉祥寺/八王子/町田/さいたま/横浜/川崎/湘南/千葉/船橋/柏
【関西版】大阪キタ/大阪ミナミ/茨木高槻/堺/京都/神戸/姫路